

馬乗り形電動車椅子、JIS制定が経産省より発表！ 新規格にテムザック「RODEM」が大きく貢献！ 日本発、世界に通用する規格！より安全性の高い製品開発が可能に

株式会社テムザック（本社：福岡県宗像市、代表取締役：高本 陽一）が2009年から開発を始め、2017年に発表した「RODEM（ロデム）」を含む、馬乗り形電動車椅子は、この度9月23日（水）に経済産業省より日本産業規格（JIS：Japanese Industrial Standards）の安全要求事項（T9210）として制定され、公示されました。弊社では、長年、要介助者の移乗の課題解決に着目し、この規格が必要と、その制定に向け活動を続けておりましたので、長年の思いが結実いたしました。※馬乗り形電動車椅子のJIS規格は、2017年に新市場創造型標準化制度の適用となり、この度の制定に至りました。

日本産業標準調査会（JISC）のHP（<http://www.jisc.go.jp/>）から、「T9210」でJIS検索すると本文を閲覧できます。

<JIS制定の経緯と期待される効果>

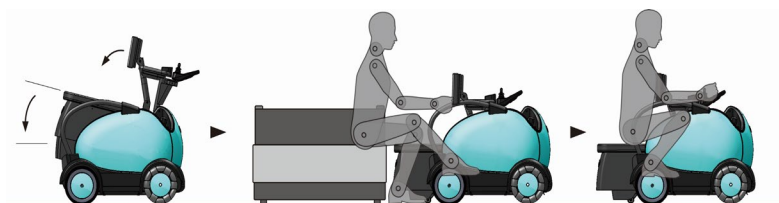
高齢化が進む我が国における介護現場では、高齢者・障がい者による車椅子の使用において、ベッドから車椅子に移乗・移動する際に、転倒する事故が発生しています。また、抱きかかえ介助作業における介護者の腰痛発症が原因となり、介護者の離職につながるという課題もあります。

“質の高い生活を、すべての人に”をコンセプトに、少子高齢社会の中で、介助者・被介助者双方の負担を減らし、誰もが暮らしやすい社会を実現したいとの想いで開発された「RODEM」は、体の向きを変えることなく移乗でき、そのままベッドや椅子、トイレ等への移動を可能にしました。

しかし、これまでRODEMのような後ろから乗りこむ、移動・移乗機能を備えた馬乗り形電動車椅子についての安全規格はなく、普及途上にありました。今回のJIS制定によって馬乗り形電動車椅子においてもリスクアセスメント評価による、機器のリスク低減が図られることで、安全性に十分配慮した製品開発が行われ、新たな市場の創造と、高齢者福祉などへの貢献に大きな前進となることが期待されます。



「RODEM」外観



「RODEM」の移乗方法

<JIS制定までの弊社のあゆみ>

RODEMは弊社代表取締役の高本が、九州大学病院リハビリテーション部の高杉紳一郎准教授（2009年当時）に、リハビリの際の移乗の課題解決をご相談いただいたことから開発が始まりました。その後、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の支援を受け、デンマークで実証実験を行うに至りました。

RODEM開発から今回のJIS規格制定に至るまでの詳しい経緯は、NEDO掲載の「NEDO実用化ドキュメント」でご覧いただけます。

リンク：<https://www.tmsuk.co.jp/topics/862/>

RODEMご紹介

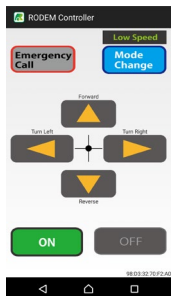
<「RODEM」6つのメリット>

1. ベッドや椅子からの乗り移りがスムーズに
2. 狭い場所でも旋回がしやすい
3. スマートフォンで遠隔操作ができる
4. 歩行者と視線の高さを合わせることができ、会話しやすい
5. 生活空間を広げ、自立度をアップ
6. 前傾姿勢により、気持ちが前向きになる

<遠隔操作>

スマートフォンで遠隔操作が可能です。

※Android（iOSは順次対応予定）



<RODEMプロモーションムービー>

<https://youtu.be/affS1NmsIwg>



プロモーションムービー
QRコード

【会社概要】

株式会社テムザック

医療、災害レスキュー、警備、コミュニケーションなど多様な実用ロボット（ワークロイド）を手掛ける、ロボット開発のパイオニア企業。

本社所在地：〒811-3502 福岡県宗像市江口465

中央研究所：〒602-8482 京都市上京区大黒町（浄福寺通）689-1

代表者：代表取締役 高本陽一（たかもと よういち）

事業内容：サービスロボットの研究開発、製造、販売

URL：<http://www.tmsuk.co.jp>

<本件についてのお問い合わせ先>

株式会社テムザック 企画本部 広報室（齋藤、上田）

TEL：075-748-0856 FAX：075-748-0857 E-mail：tmsuk-pr@tmsuk.co.jp